

製材業における激突され災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	14~15	クレーンで作業中、吊っていた丸太のハサミが外れ丸太の下敷きになった。	57	1~9
2	16~17	当社工場内で製材の補助作業をしている時に木屑を取ろうと下を向いた時に、バックして来た送台車のヘッドに当たりそのまま反対の頭部を製材機にぶつけた。	47	1~9
3	15~16	4tユニック車で木材を積荷作業中、木材をワイヤーロープで吊り上げていたら、急に木材が前後左右に回転したため身体が飛ばされ、車の高さから落下した。落下した場所が切り株で足場の悪く、骨折を負った。	79	1~9
4	11~12	自動カットソーの投入口で、木材を投入し、スタートしたので、次の材料を投入しようとした時、その先端部が、動いているスターターガイドに当たり押し戻された為、握っていた部分が、手をはなれ、陰のう部に当たり負傷した。また、左手の親指付け根の筋肉にも当たり打撲した。	34	10~29
10	16~17	会社工場内作業場において、合板集めの作業中にバック運転で走行してきたフォークリフトに、通路付近で後向きにて作業していたために近づいてきたフォークリフトに気付かず、フォークリフトに右足首を踏まれ打撲した。	69	50~99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html